



つなぐプロジェクト

～すべては区民のためだけに～

台東区議会会派

区政報告 レポート

No.8

発行：つなぐプロジェクト
東京都台東区東上野 4-5-6

令和元年

第1回臨時会&第2回定例会報告

平成31年3月に区議会議員選挙が行われ、5月より19期台東区議会がスタートしました。5月16日には、令和元年第1回臨時会が開催され、本会議での議席の指定や、議長・副議長、所属委員会等が決まり、副区長や監査委員の選任に伴う同意が行われました。また、6月4日から25日間にわたって開催された第2回定例会では、区長の所信表明や代表質問などが行われ、約17億6,500万円の一般会計補正予算（第2回）を含む19議案を可決し、6月28日に閉会しました。「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

新生「つなぐプロジェクト」！

3月に行われた区議会議員選挙を経て、新生「つなぐプロジェクト」として議会活動をスタートしました。「つなぐプロジェクト」は、「すべては区民のためだけに」をキャッチフレーズに、**台東区政のプロフェッショナル**として議会本来の役割である「**行政のチェックや制度の提案**」を行い、「誰もが住んでいてよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、今後とも全力を尽くしてまいります。

政調会長

あおしか公男



- 保健福祉委員会
- 交通対策・地区整備特別委員会（委員長）
- 子育て・若者支援特別委員会

幹事長

早川太郎



- 議会運営委員会
- 企画総務委員会
- 交通対策・地区整備特別委員会

副幹事長

本目さよ



- 区民文教委員会
- 子育て・若者支援特別委員会（委員長）
- 環境・安全安心特別委員会

副政調会長

松村ともなり



- 建設産業委員会
- 文化・観光特別委員会

つなぐプロジェクト 代表質問要旨



早川太郎

○ 協働の推進

町会は区政運営を共にけん引してきた最大のパートナーです。しかし、ライフスタイルも多様化し、文化や価値観の違う方々も増えてきました。**町会役員の成り手を集めにくい状況になってきています**。PTAも、時間的に活動できない保護者も増え、従来の活動に変化を求める保護者も増えていくのではないのでしょうか。**時代の変化により、パートナーとしての協働の土壌も弱まってきています**。この状況を看過せず、**協働が機能していくよう対応策を検討すべき時期にきています**。まちづくりや産業などの施策においても、**協働パートナーを育ていく視点を持って施策展開していく必要があります**。協働の今後の取り組みについて伺います。

▶区長答弁

協働意識の醸成や、区の様々な分野における取り組みにおいて、多様な主体との協働を推進していきます。さらに、地域の課題解決に取り組む団体相互の連携などにより、地域の活性化やさまざまな課題解決を図っていきます。

○ ICT教育

区は、小中学校3校をモデル校として、タブレットの整備を実施しました。ICTの活用能力向上だけでなく、アクティブラーニングにも適しているとの認識も持ちましたが、**導入当初のバックアップ体制整備は必須**です。先進事例なども参考とし、**環境整備にむけては、アンテナを充分高くして対応**してほしいと思います。ICT教育推進に向けて、国の方向性が大きく転換されようとしている中、一刻も早く**ICT教育推進のための方針を決め、環境整備を図っていくべき**です。ハード整備はスタートであり、**情報活用能力を育むことが重要**です。今後のICT教育をどのように進めていくのでしょうか。

▶教育長答弁

ICT教育環境の全校整備を見据えながら、その環境を効果的に活用できるよう情報活用能力の育成を図るICT教育の推進をめざしていきます。

その他 ●区財政について

一般会計補正（第2回）予算成立

今定例会において、約17億6,500万円の補正予算が成立。今年度当初予算は、原則として新規・充実事業の経費は見合わされており、今回の補正予算で新規・充実を含む84の事業経費が計上されているため、大型補正予算となっています。補正予算には、幼児教育・保育無償化への対応費用や、政策要望などで提案していた「事務効率向上のためのRPA導入に向けた実証実験、風しん対策の強化、福祉作業所等の自主製品への高付加価値支援、保育所などの紙おむつ処理、幼児運動教室の拡充費用」なども含まれていて、必要な予算と考え賛成いたしました。

一般会計補正予算（第2回）の主な事業

総務費…RPAの導入に向けた実証実験、避難行動要支援者への災害時個別支援計画作成
民生費…福祉作業所等の工賃向上支援、介護サービス人材確保
衛生費…風しん抗体検査及び予防接種の拡充、胃がん検診の充実（内視鏡検査）、公衆喫煙所・さわやかトイレ整備

文化観光費…下町風俗資料館改修のための基本計画策定
産業経済費…プレミアム付商品券発行
土木費…入谷・上野小学校前歩道橋の撤去
教育費…幼児教育・保育無償化、保育所等の紙おむつ処理、放課後子供教室の拡大 など84事業



会派視察

2019年7月19日
文京区教育センター



あおしか公男

このセンターは、湯島にあった旧総合体育館跡地に平成27年に開設。元々あった福祉センター療育部門と教育センターの連携を強化するため、発達や教育などの相談窓口を一本化し、乳幼児期から学齢期までの切れ目のないサービスを提供することなどを目的に開設されました。

青少年プラザも一体的に整備された複合施設で、「子どもたちの健やかな育ちを支える拠点」「区の教育目標を実現する学校支援センター」となっているそうです。「化学実験室」や「ICT研修室」、教員研修実施の「研修室」、主に不登校児対応の「ふれあい教室」、子どもの発達や教育などの心配事への対応の「総合相談室」、児童発達支援や放課後デイなどの「児童発達支援センター」。そして、中高生の秘密基地をコンセプトとした青少年プラザ「b-lab」などで構成されています。台東区は、今後、児童発達支援センターを開設予定。療育と教育支援、子どもの居場所などを一体的に運営している総合施設を視察し、大変勉強になりました。子ども・子育て支援のための施設整備など、さらに勉強していきたいと思っています。



本目さよ



つなぐプロジェクト 一般質問要旨

松村ともなり



○ 子どもを取り巻くリスクに備える！

- ① **ロタウイルス**により乳幼児が死に至ることもあります。国の対応を待たず台東区はいち早く**予防接種の費用を助成または無償化**することで、**子どもの命を守るためにリスクを軽減すべき**です。
- ② **子どもを巻き込む交通事故が多発**しています。チェックが実施されていない**保育園のお散歩ルート**などについても、**一刻も早く危険箇所への対応をすべき**です。
- ③ **液体ミルク**が今年3月に市販化されました。調乳の手間がなく、そのまま赤ちゃんにあげることが可能なもので、**災害時にも有用**です。公立保育園で**日常の保育に使用する**とともに、**災害時には備蓄として活用すべき**です。



①③
区長答弁

②
教育長答弁

- ① 新たな知見や国の検討結果を注視し、予防接種に関する施策を推進していきます。
- ② 安全対策の強化のため、保育施設周辺の園外活動の経路における危険箇所の調査を実施している。子供の安全確保に最善を尽くしていきます。
- ③ 液体ミルクの備蓄は、保管場所や経費などの課題もあり、他自治体や製品開発の動向を注視しつつ研究していきます。

その他 ●区とこれからの区民との関係

○ 地域主体のまちづくり

マンションの建設紛争を防ぐには地域の合意に基づく地域ルールが必要です。**地区計画・景観協定・建築協定を区民に周知し、広く浸透していなければ、自発的なまちづくりは行われません**。地域主体のまちづくりを推進させるためどう取り組んでいくのでしょうか。



区長答弁

まちづくりに係る総合的な条例の制定に向けた取り組みの中で、区民などの参画の仕組みなど、実効性あるまちづくりの推進を図っていきます。

○ 年少人口増加による対応

年少人口増加により、蔵前小では教室数が確保できなくなり**校舎の改築が行われました。他の学校でも同様な課題があります**。年少人口が増加しても、**子どもの教育環境に影響を及ぼさないような対応が重要**と考えますがどうでしょうか。



教育長答弁

教室不足が予測される学校には、指定校変更など制限を行い、さらに対応が必要な場合は、特別教室などを転用し教室を確保することを基本的な考え方としています。今後もこれまでの考え方を踏まえ、既存施設を活用し、良質な教育環境の整備に努めていきます。